

情報化社会に生きる子どもの社会科授業 「ニュースが報道されるまで」取材協力 江別市の小学校教師が来社

2023年9月30日（土）

「HTB秋の大感謝祭」開催中の9月30日、江別市の小学校教師5人が「ニュースがどのように作られているのか」についてカメラ取材をするため、HTBを訪れました。これは、江別第一小学校5年生が社会の授業として「マスメディアの視点と伝わり方」を学ぶため、事前にニュース報道の仕組みについて調べたいと教師から依頼があり、報道部が協力したものです。後藤雄也報道部長は新セットの報道スタジオや回線センターを案内して、記者の業務について説明したり、ニュースの項目立てやトップニュースなど項目順に対する判断基準を説明しました。また、教師らはニュースの生放送を副調整室で見学し、その臨場感に関心していました。この内容は社会科の教師が集まる公開の研究授業で、生徒に向けて紹介され、子どもたちのメディアリテラシー教育に役立てられます。

